



# 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月4日

上場会社名 株式会社 有沢製作所  
 コード番号 5208 URL <https://www.arisawa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有沢 悠太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 増田 竹史  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

上場取引所 東  
 TEL 025-524-7101

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	22,994	5.7	1,861	9.1	2,408	5.3	2,563	46.8
2022年3月期第2四半期	21,744		2,048		2,287		1,745	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 3,003百万円 (67.0%) 2022年3月期第2四半期 1,798百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	77.37	77.23
2022年3月期第2四半期	52.38	52.34

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	70,866	47,308	66.6	1,437.10
2022年3月期	68,689	47,965	69.6	1,434.46

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 47,220百万円 2022年3月期 47,786百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		5.00		90.00	95.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	4.4	2,600	21.7	3,500	16.8	3,200	18.2	96.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期業績予想の修正につきましては、本日(2022年11月4日)開示しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	33,742,524 株	2022年3月期	33,614,824 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	884,558 株	2022年3月期	301,575 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	33,132,891 株	2022年3月期2Q	33,332,128 株

- (注) 期末自己株式数には、「従業員向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託口)が保有する当社株式(2023年3月期2Q 88,100株、2022年3月期 88,600株)が含まれております。  
また、株式会社日本カストディ銀行(信託口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2023年3月期2Q 88,392株、2022年3月期2Q 24,446株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等により緩やかな回復基調で推移する一方で、中国ではゼロコロナ政策により経済が停滞し、加えてウクライナ情勢の長期化、急速な円安の進行等により、エネルギー費や原材料価格が高騰するなど、依然として先行きが不透明な状態が続いています。

このような状況のもと当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）の当第2四半期累計期間の業績は、電子材料の売上が堅調に推移し、産業用構造材料及びディスプレイ材料の売上が増加したことから、売上高 229 億 94 百万円（前年同期比 5.7%増）となりました。一方、営業利益はエネルギー費や原材料価格の高騰を受けて、18 億 61 百万円（同 9.1%減）に留まりました。経常利益は為替差益などにより 24 億 8 百万円（同 5.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益などにより 25 億 63 百万円（同 46.8%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

(電子材料)

フレキシブルプリント配線板材料の販売が堅調に推移したこと等により、売上高は 153 億 84 百万円（同 0.3%増）、セグメント利益はエネルギー費や原材料価格の高騰の影響を受けて 13 億 60 百万円（同 26.0%減）となりました。

(産業用構造材料)

水処理用 FRP 製圧力容器の販売が増加したこと等により、売上高は 40 億 10 百万円（同 19.1%増）、セグメント利益は 5 億 95 百万円（同 64.3%増）となりました。

(電気絶縁材料)

インフラ関連向けの販売が堅調に推移したこと等により、売上高は 12 億 54 百万円（同 0.8%増）、セグメント利益は 52 百万円（同 62.0%減）となりました。

(ディスプレイ材料)

3D関連材料及びカラーリンク・ジャパン㈱での偏光利用部材の販売が増加したこと等により、売上高は 21 億 81 百万円（同 38.8%増）、セグメント利益は 5 億 74 百万円（同 56.9%増）となりました。

(その他)

売上高は 1 億 62 百万円（同 25.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ21億77百万円増加し、708億66百万円となりました。これは主に、現金及び預金が34億77百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が9億93百万円、原材料及び貯蔵品が12億円それぞれ増加し、有価証券が8億96百万円、投資有価証券が53億80百万円それぞれ減少したこと等によります。負債合計は、前連結会計年度末に比べ28億34百万円増加し、235億57百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が17億15百万円、長期借入金が11億64百万円それぞれ増加し、短期借入金が7億24百万円減少したこと等によります。純資産は、前連結会計年度末に比べ6億56百万円減少し、473億8百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が12億85百万円増加し、利益剰余金が4億43百万円、その他有価証券評価差額金が8億19百万円、自己株式の取得による7億6百万円それぞれ減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月4日に公表しました2023年3月期の通期連結業績予想を以下の通り修正致します。

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正

(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	48,400	3,400	4,000	3,400	102.45
今回修正予想 (B)	45,000	2,600	3,500	3,200	96.98
増減額 (B - A)	△3,400	△800	△500	△200	
増減率 (%)	△7.0	△23.5	△12.5	△5.9	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	43,089	3,320	4,204	3,911	117.40

(修正の理由)

2023年3月期の通期連結業績予想につきまして、当第3四半期以降、中国でのゼロコロナ政策による経済活動の停滞等により、電子材料の売上高が減少する見込みです。営業利益は売上高の減少及びエネルギー費等の高騰により前回発表予想を下回る見込みです。経常利益及び親会社に帰属する当期純利益は円安による為替差益等により営業外収益が増加するものの、営業利益の減少により、前回発表予想を下回る見込みです。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,341,765	20,819,010
受取手形、売掛金及び契約資産	16,073,835	17,067,446
有価証券	1,040,342	144,083
商品及び製品	4,401,727	5,257,499
仕掛品	2,112,503	2,282,890
原材料及び貯蔵品	4,123,818	5,323,850
その他	797,960	1,161,851
貸倒引当金	△15,947	△24,337
流動資産合計	45,876,007	52,032,294
固定資産		
有形固定資産	13,775,074	14,516,299
無形固定資産	279,191	265,872
投資その他の資産		
投資有価証券	7,875,645	2,495,520
その他	933,709	1,606,562
貸倒引当金	△50,428	△49,619
投資その他の資産合計	8,758,926	4,052,463
固定資産合計	22,813,192	18,834,636
資産合計	68,689,199	70,866,930

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,637,609	7,352,793
1年内償還予定の社債	26,800	16,800
短期借入金	3,562,272	2,837,583
1年内返済予定の長期借入金	957,962	1,557,416
未払法人税等	1,087,828	1,207,077
製品保証引当金	73,525	32,743
賞与引当金	507,532	739,536
役員賞与引当金	4,503	1,407
その他	3,332,705	3,292,977
流動負債合計	15,190,739	17,038,335
固定負債		
社債	27,600	19,200
長期借入金	3,845,199	5,009,835
株式給付引当金	29,802	40,374
退職給付に係る負債	583,365	553,532
資産除去債務	92,521	98,025
その他	954,267	798,637
固定負債合計	5,532,757	6,519,606
負債合計	20,723,496	23,557,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,643,777	7,717,787
資本剰余金	3,017,461	3,068,532
利益剰余金	34,936,822	34,493,073
自己株式	△299,704	△1,006,307
株主資本合計	45,298,357	44,273,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,229,118	409,838
繰延ヘッジ損益	△50,146	△60,852
為替換算調整勘定	1,317,978	2,603,807
退職給付に係る調整累計額	△8,734	△5,849
その他の包括利益累計額合計	2,488,215	2,946,944
新株予約権	149,131	88,957
非支配株主持分	29,998	—
純資産合計	47,965,702	47,308,988
負債純資産合計	68,689,199	70,866,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	21,744,712	22,994,013
売上原価	17,055,141	18,292,178
売上総利益	4,689,570	4,701,835
販売費及び一般管理費	2,640,857	2,840,016
営業利益	2,048,713	1,861,818
営業外収益		
受取利息	94,145	76,093
受取配当金	39,520	40,147
為替差益	—	425,868
その他	250,281	164,122
営業外収益合計	383,946	706,232
営業外費用		
支払利息	56,448	65,189
賃貸費用	41,648	26,194
支払補償費	—	51,386
その他	47,461	16,436
営業外費用合計	145,558	159,205
経常利益	2,287,101	2,408,845
特別利益		
固定資産売却益	1,298	461
投資有価証券売却益	226,398	1,305,241
その他	43,094	40,870
特別利益合計	270,791	1,346,572
特別損失		
投資有価証券売却損	4,053	55,867
減損損失	—	11,813
その他	26,344	5,407
特別損失合計	30,398	73,087
税金等調整前四半期純利益	2,527,494	3,682,330
法人税等	713,386	1,116,339
四半期純利益	1,814,108	2,565,990
非支配株主に帰属する四半期純利益	68,273	2,465
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,745,834	2,563,524

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,814,108	2,565,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△231,595	△819,279
繰延ヘッジ損益	3,982	△10,706
為替換算調整勘定	191,193	1,240,050
退職給付に係る調整額	7,515	2,885
持分法適用会社に対する持分相当額	13,210	24,170
その他の包括利益合計	△15,693	437,120
四半期包括利益	1,798,415	3,003,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,999,675	3,022,253
非支配株主に係る四半期包括利益	△201,260	△19,142

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,527,494	3,682,330
減価償却費	1,052,170	1,097,498
株式報酬費用	25,092	18,577
新株予約権戻入益	△43,094	△40,870
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△21,682	5,523
賞与引当金の増減額 (△は減少)	120,153	232,003
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△39	△44,999
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,692	△3,095
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	19,452	△41,035
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△14,975	△25,681
投資有価証券償還損益 (△は益)	△99,764	△40,063
受取利息及び受取配当金	△133,665	△116,241
助成金収入	△28,226	△9,652
支払利息	56,448	65,189
為替差損益 (△は益)	△61,162	△251,516
持分法による投資損益 (△は益)	△238	△29,194
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△222,344	△1,249,374
固定資産売却損益 (△は益)	△1,298	△461
有形固定資産除却損	6,645	213
減損損失	—	11,813
売上債権の増減額 (△は増加)	333,086	△197,010
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,233,961	△1,813,237
仕入債務の増減額 (△は減少)	496,080	1,465,803
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△17,513	△276,064
その他の資産の増減額 (△は増加)	70,968	△155,290
その他の負債の増減額 (△は減少)	△204,433	106,252
小計	1,623,501	2,391,417
利息及び配当金の受取額	148,501	176,560
利息の支払額	△70,130	△61,841
助成金の受取額	28,226	9,652
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	1,137,813	△955,899
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,867,912	1,559,889

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△362,025
定期預金の払戻による収入	1,460,600	132,390
有形固定資産の取得による支出	△882,873	△1,954,579
有形固定資産の売却による収入	1,298	461
無形固定資産の取得による支出	△36,602	△21,236
投資有価証券の取得による支出	△102,918	△332,491
投資有価証券の売却による収入	1,455,717	6,780,340
貸付けによる支出	—	△20,097
貸付金の回収による収入	4,510	4,305
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△10,324	△12,629
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,889,408	4,214,436
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	126,916	△903,394
長期借入れによる収入	519,377	2,587,765
長期借入金の返済による支出	△476,362	△1,305,248
リース債務の返済による支出	△39,858	△57,691
社債の償還による支出	△18,400	△18,400
長期未払金の返済による支出	△31,094	△4,709
株式の発行による収入	10,612	125,888
自己株式の取得による支出	△82,836	△749,709
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△779,045	△45,813
配当金の支払額	△1,293,664	△2,998,210
非支配株主への配当金の支払額	△68,154	△9,589
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,132,510	△3,379,111
現金及び現金同等物に係る換算差額	238,997	822,104
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,863,808	3,217,319
現金及び現金同等物の期首残高	11,488,288	16,893,109
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,352,096	20,110,428

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2022年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式624,400株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が749,999千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が1,006,307千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子材料	産業用構造材料	電気絶縁材料	ディスプレイ材料	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,342,174	3,368,208	1,244,599	1,571,438	21,526,420	218,291	21,744,712
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	415,842	415,842
計	15,342,174	3,368,208	1,244,599	1,571,438	21,526,420	634,134	22,160,555
セグメント利益	1,839,473	362,226	138,434	366,016	2,706,150	95,613	2,801,763

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関連商品販売、物流関連及びその他事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,706,150
「その他」の区分の利益	95,613
セグメント間取引消去	8,095
全社費用(注)	△736,930
棚卸資産の調整額	△24,214
四半期連結損益計算書の営業利益	2,048,713

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子材料	産業用構造材料	電気絶縁材料	ディスプレイ材料	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,384,440	4,010,805	1,254,676	2,181,406	22,831,329	162,684	22,994,013
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	434,860	434,860
計	15,384,440	4,010,805	1,254,676	2,181,406	22,831,329	597,544	23,428,874
セグメント利益	1,360,339	595,007	52,547	574,404	2,582,299	90,346	2,672,646

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関連商品販売、物流関連及びその他事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,582,299
「その他」の区分の利益	90,346
セグメント間取引消去	4,319
全社費用（注）	△748,729
棚卸資産の調整額	△66,417
四半期連結損益計算書の営業利益	1,861,818

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「産業用構造材料」セグメントにおいて、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった資産について、帳簿価額を備忘価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては11,813千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。